

住民説明会結果表（質疑応答を中心に）	
開催日時	平成21年9月12日（土） 19:00～20:15
会場	西尾市立室場小学校 体育館
来場者数	150人
質 疑 応 答 の 要 旨	
Q	合併に向けての課題として電算システム、退職金手当、消防団組織の説明があったが、どのくらいの予算が必要か。説明資料に今後の見込み額の計算は入っているのか。
A	電算システムについては1市3町の課長会議で検討を進めており、約11億円が必要と試算しているが、3町からも負担金をいただく。退職金手当では3町が組合を脱退していく方針であるが、消防団の件も含めて今後の合併協議会で検討していく。資料の見込み額の計算には計上していない。
Q	電算システムについては11億円だけでなく、議会の説明では今後もっと必要になると聞いているが。こんな説明でよいのか。
A	電算システムについては、どのような手法が良いか現在調整中である。
Q	合併協議会に市民を入れていくと説明されたが、公募をするのか。合併に際し、もっと詳細なメリット、デメリットを示すべきでないか。住民投票が必要ではないか。合併したら後戻りはできない。 住民の幸せを第一に、福祉や社会保障が停滞しないよう考えて欲しい。 3町は年間で20億円の交付金を受けている。今後西尾市は大きな借金を抱えることになる。合併協議会でどのように借金を返済するか示して欲しい。
A	住民の幸せを第一に考えて生きたい。合併協議会のメンバーの公募は考えていない、地域の中から諸事業に詳しい数名を選出して生きたい。 合併協議会で、新市基本計画を作成していく。財政面など詳細についてはこの中で検討し、示していきたい。住民説明会の開催もしていく。
Q	新市の名称は西尾市か、他を考えるのか。
A	基本的には西尾市とすることで協議していきたい。
Q	合併の目的で市長は住民の幸せといわれたが、合併しなくとも1市3町の協力で進めていけるのではないか。デメリットを見ると住民の幸せを考えているとは思えないが。なぜ今合併が必要なのか。1市3町が独自に行政改革を進めれば良いのではないか。
A	1市3町の協力で進められる事業もあると思うが、今後の高齢化に向け合併による人件費の削減等を図り高齢化社会を乗り越えていきたい。

Q：人件費を減らし老人福祉に使うというのは政治家として考えることではない。職員の削減は住民サービスの低下につながる。職員、議員の削減をすれば市民の意見が伝わらなくなる。

A：単に職員の削減ではなく、合併により適正な人員計画を作成し、重複する部所等のダブリが予想される職員数の削減をしていく。

Q：説明された内容は絵に書いた餅である。住民投票は必ずやってほしい。

A：説明会終了した後に住民意向アンケート調査を実施する。アンケート調査は18歳以上の方から約5%を対象とし、単に合併賛成・反対でなく、その理由や意見を記していただく内容で進めていく。賛否のみを聞く住民投票は考えていない。

Q：電算システムの統合については、すり合わせをしていけば変更等は必要ないのではないか。何が電算システムの課題なのか。

A：現在電算システム等について3町と協議を進め分析中である。